

医療政策・医療経済の立場 からのOTC活用

令和7年10月11日

慶應義塾大学 名誉教授

医療経済研究機構 副所長

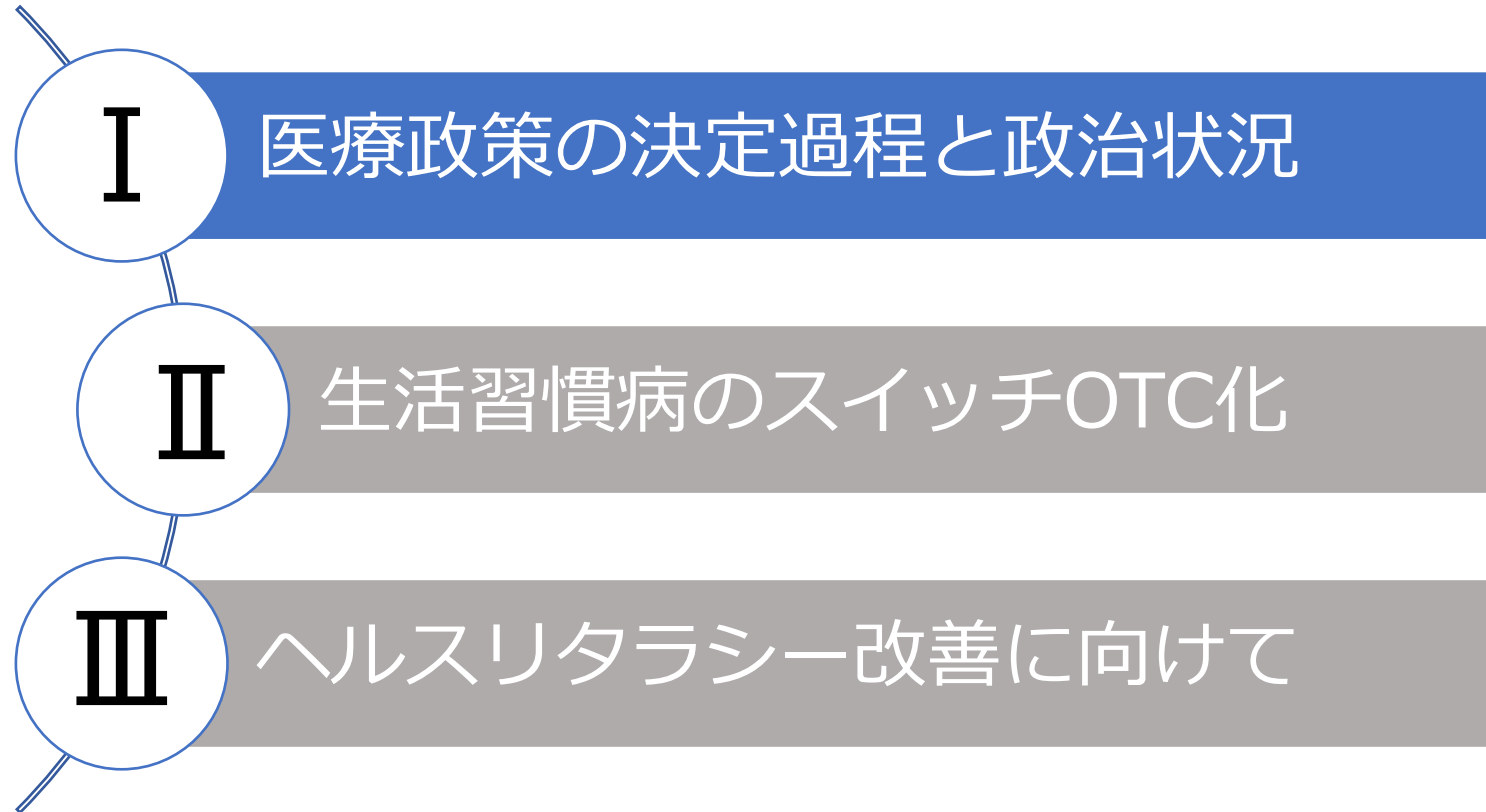
ZEN大学知能情報社会学部 教授

印南 一路（いんなみ いちろ）

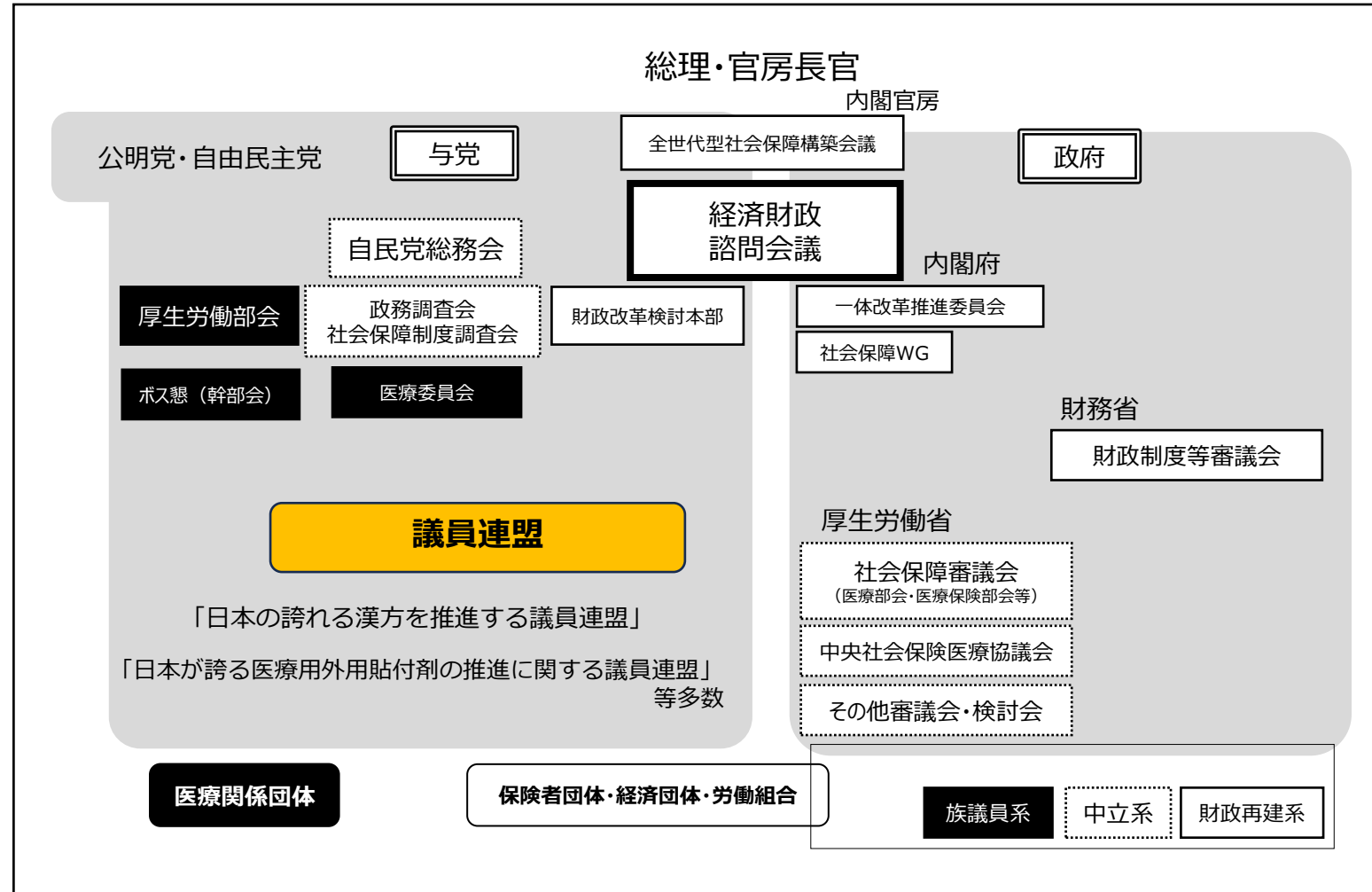
zion@sfc.keio.ac.jp



内容



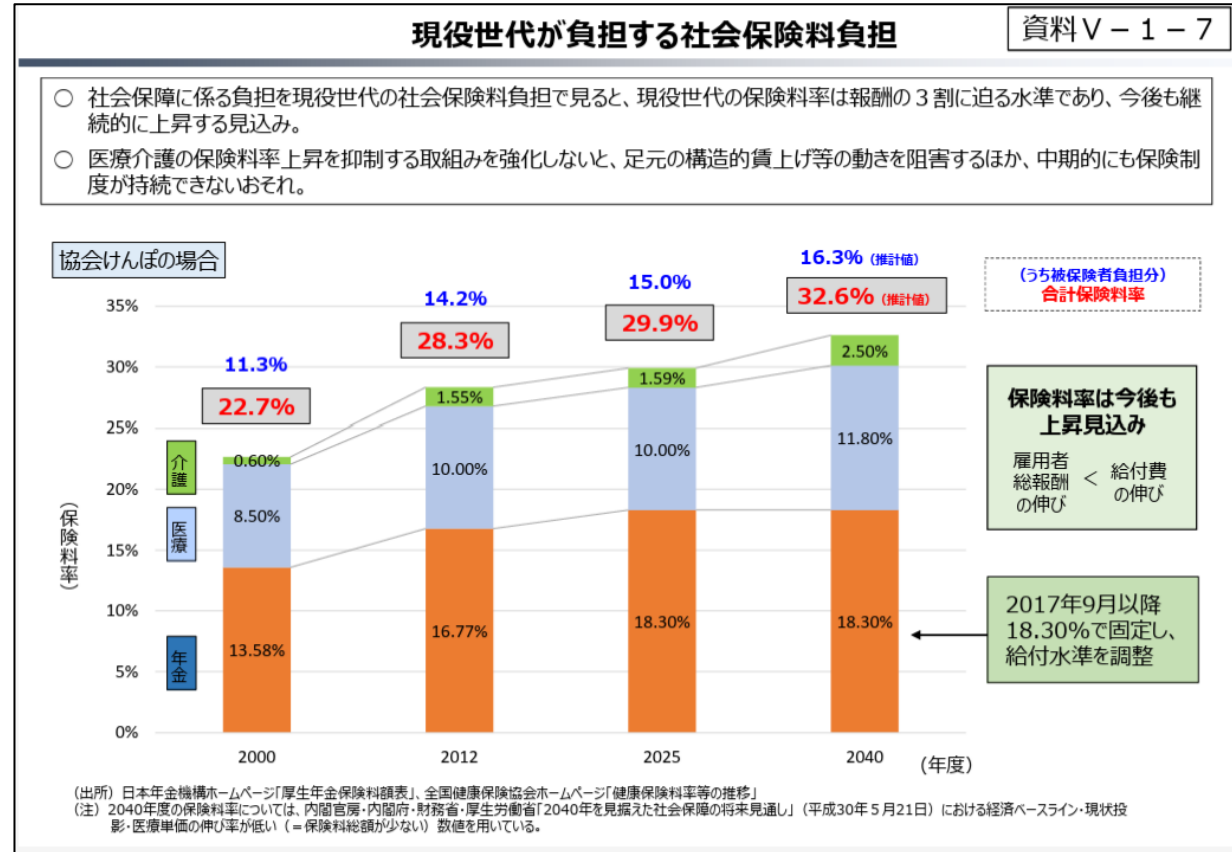
(1) 医療政策の決定構造(これまで)



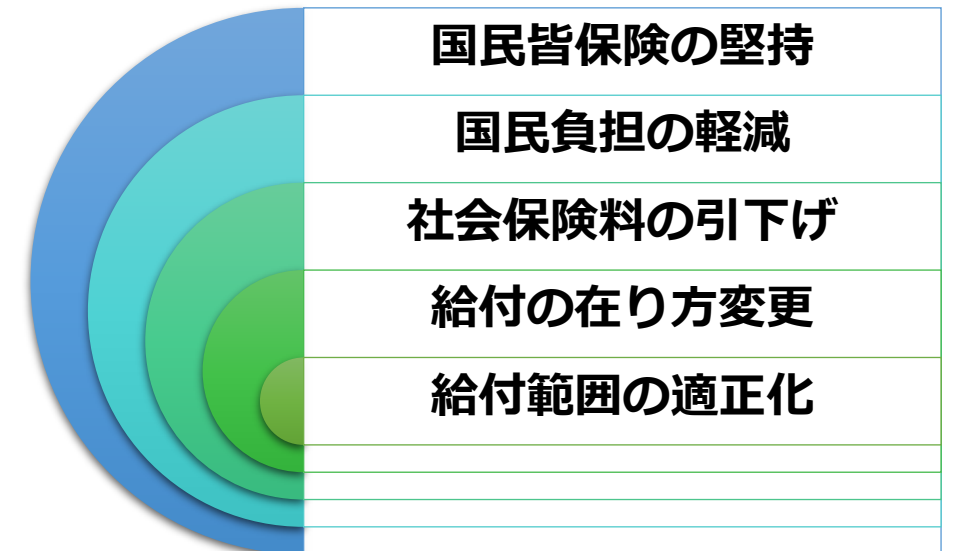
(2) 野党の医療政策

	医療政策の中でのメイン	高齢者医療制度	給付範囲の見直し	その他
立憲民主党		抜本改革（窓口負担の3割統一には反対）	軽症患者の医療費見直し、不適切治療の保険適用除外（抗菌薬）、エビデンスのある予防医療の給付化、高額薬剤は保険導入を目指す	保険者機能の強化、高額療養費制度の拡充
日本維新の会	社会保険料の引き下げ （医療費年間4兆円削減、うち1兆円は病床削減による）	窓口負担の公平化、後期高齢者支援金の圧縮	OTC類似薬の保険適用除外（金額不明）	病床数の削減、医療DX、タスクシフト、地域フォーミュラリ等
国民民主党	現役世代の社会保険料負担の引き下げ	公費投入（後期高齢者、前期高齢者）	科学的根拠に基づいた給付、OTC類似薬の保険適用除外、保険外併用療養費制度の活用	イノベーションの推進、ヘルスリテラシー、セルフメディケーション（スイッチOTC）、医療従事者の負担軽減、地域医療体制、医療DX、終末期医療
参政党	給付範囲の見直し		過剰処方対策（診療報酬の引き下げ）、OTC類似薬の保険適用除外、予防医療の保険適用	予防医療への転換、かかりつけ医の原則化

(3) 論理の流れ



財政審20250527資料



いわゆる骨太方針2025

持続可能な社会保障制度のための改革を実行し、現役世代の保険料負担を含む国民負担の軽減を実現するため、OTC類似薬の保険給付の在り方の見直し²⁰⁸や、地域フォーミュラリの全国展開²⁰⁹、新たな地域医療構想に向けた病床削減²¹⁰、医療DXを通じた効率的で質の高い医療の実現、現役世代に負担が偏りがちな構造の見直しによる応能負担の徹底²¹¹、がんを含む生活習慣病の重症化予防とデータヘルスの推進などの改革について²¹²、引き続き行われる社会保障改革に関する議論の状況も踏まえ、2025 年末までの予算編成過程で十分な検討を行い、早期に実現が可能なものについて、2026 年度から実行する。

²⁰⁷ 日本労働組合総連合会の集計によれば、現時点（第6回集計）で定期昇給を含む平均賃上げ率は5.26%（うちベースアップ分のみで3.71%）、組合員数300人未満の組合の平均賃上げ率は4.70%（うちベースアップ分のみで3.51%）となっている。

²⁰⁸ 医療機関における必要な受診を確保し、こどもや慢性疾患を抱えている方、低所得の方の患者負担などに配慮しつつ、個別品目に関する対応について適正使用の取組の検討や、セルフメディケーション推進の観点からの更なる医薬品・検査薬のスイッチOTC化に向けた実効的な方策の検討を含む。

²⁰⁹ 普及指針策を検討し、各地域において地域フォーミュラリが策定されるよう取組を推進する。

²¹⁰ 人口減少等により不要となると推定される一般病床・療養病床・精神病床といった病床について、地域の実情を踏まえた調査を行った上で、2年後の新たな地域医療構想に向けて、不可逆的な措置を講じつつ、調査を踏まえて次の地域医療構想までに削減を図る。

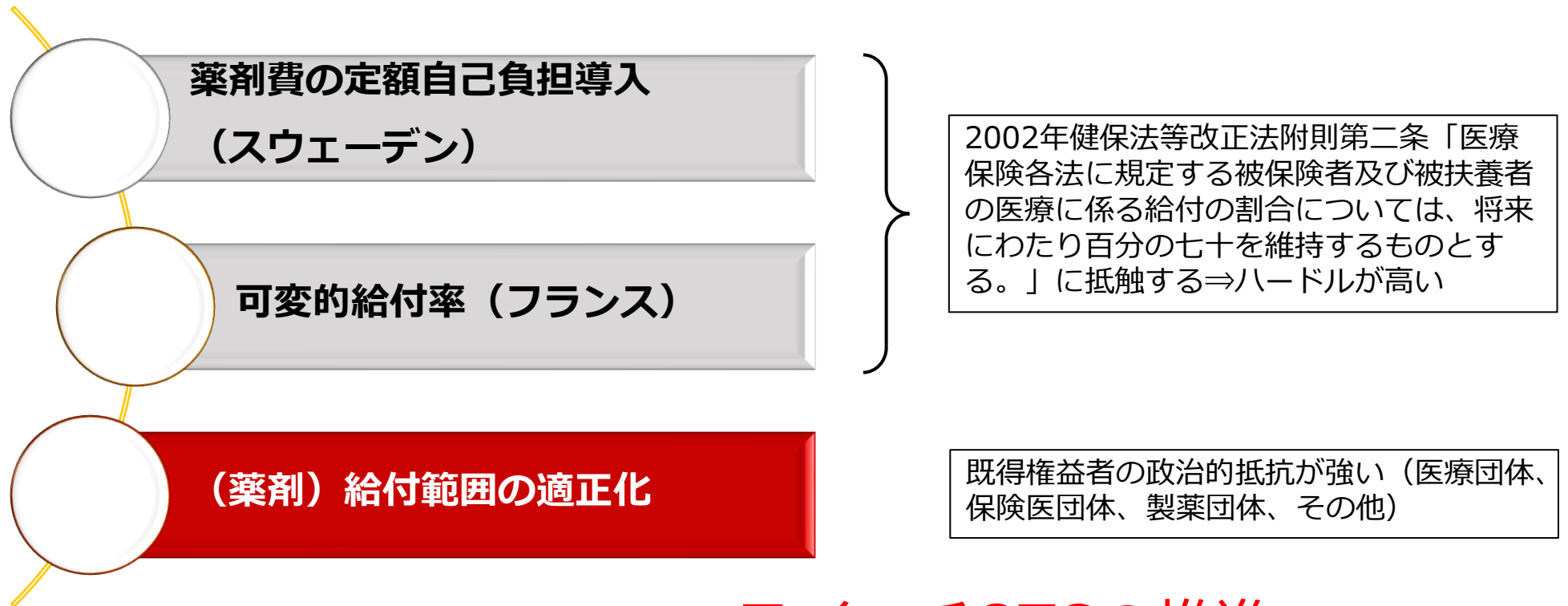
²¹¹ 医療・介護保険における負担への金融所得の反映に向けて、税制における金融所得に係る法定調書の現状も踏まえつつ、マイナンバーの記載や情報提出のオンライン化等の課題、負担の公平性、関係者の事務負担等に留意しながら、具体的な制度設計を進める。

²¹² 詳細については、「自由民主党、公明党、日本維新の会 合意」（令和7年6月11日自由民主党・公明党・日本維新の会）を参照。

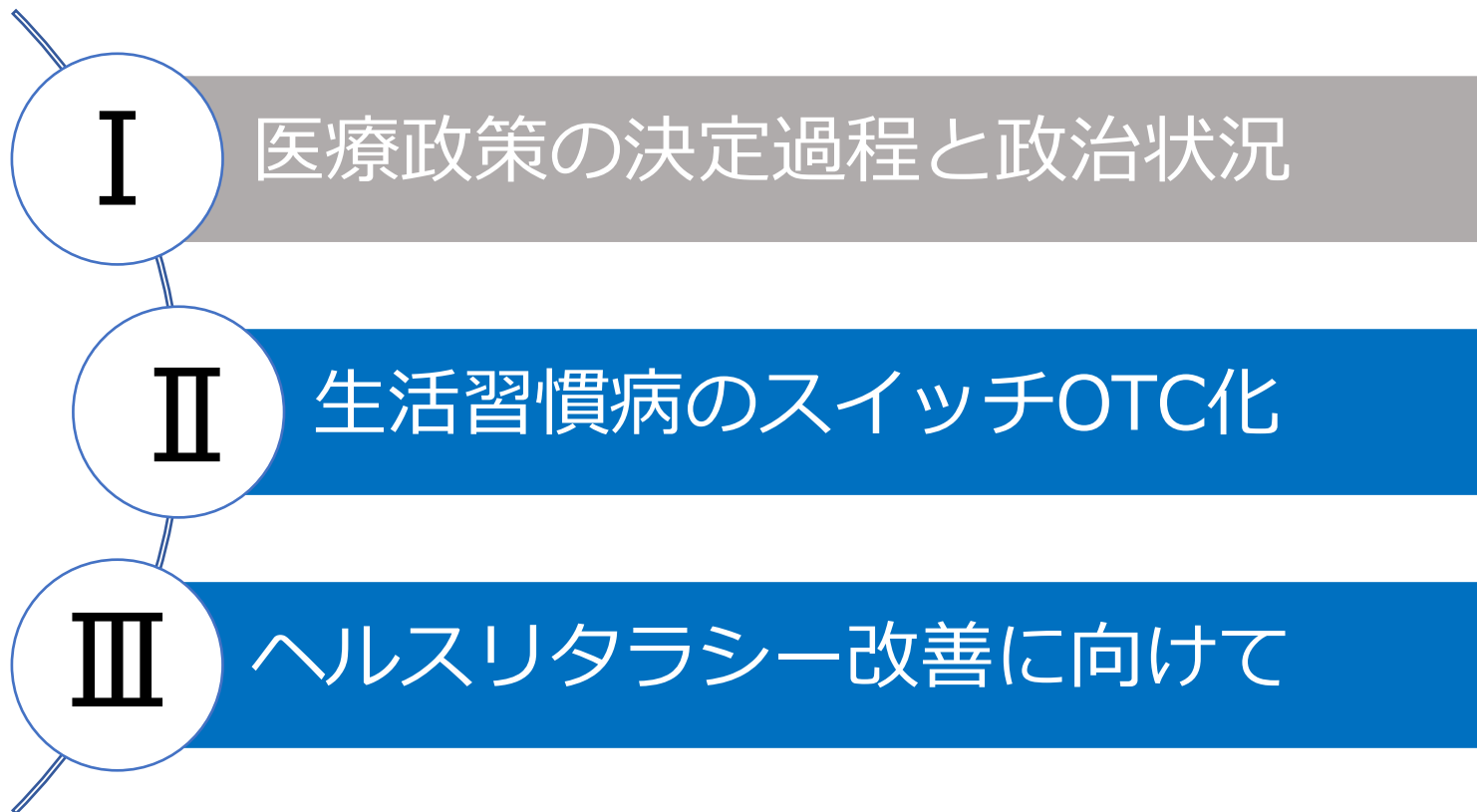
²¹³ 「全世代型社会保障構築を目指す改革の道筋（改革工程）」（令和5年12月22日閣議決定）。

²¹⁴ 経営情報の提出、分析及び公表の電子化を含む。

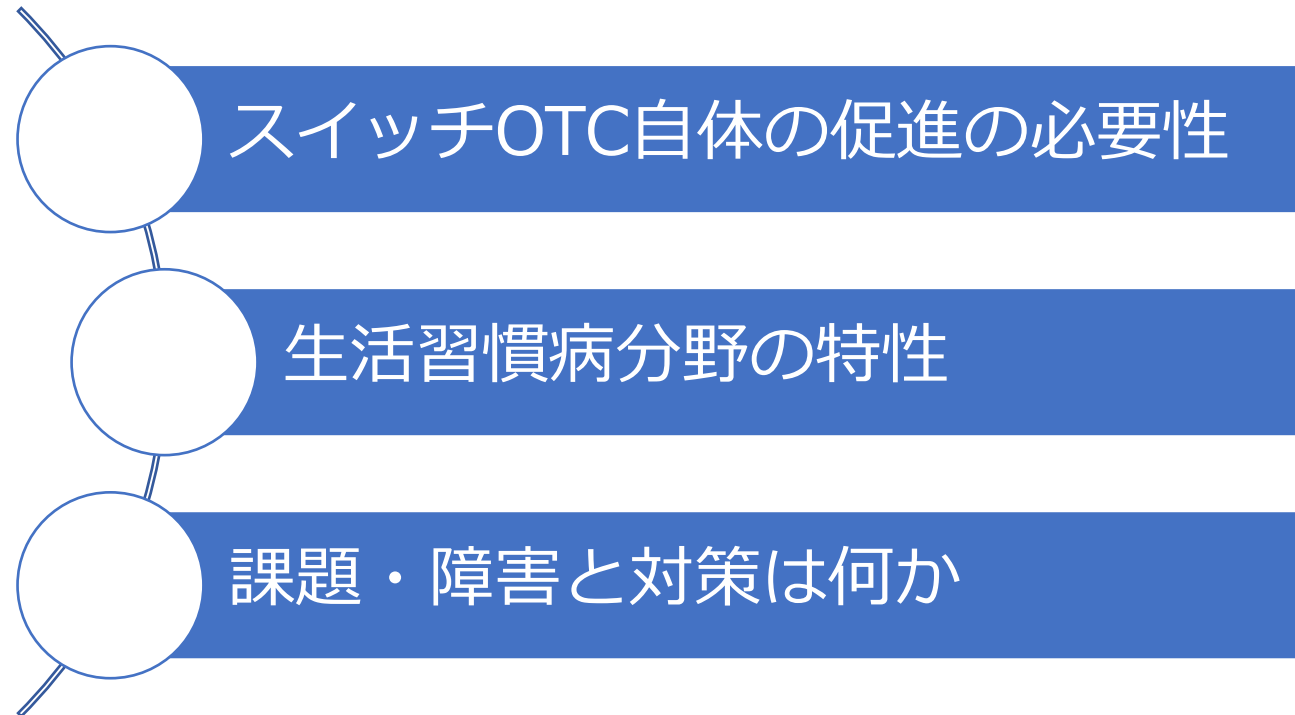
給付範囲の適正化で捉えるべき



OTC類似薬の保険適用除外+ **スイッチOTCの推進**



(1) 生活習慣病分野のスイッチOTC化促進は一つの注目点



スイッチOTC自体の促進の必要性

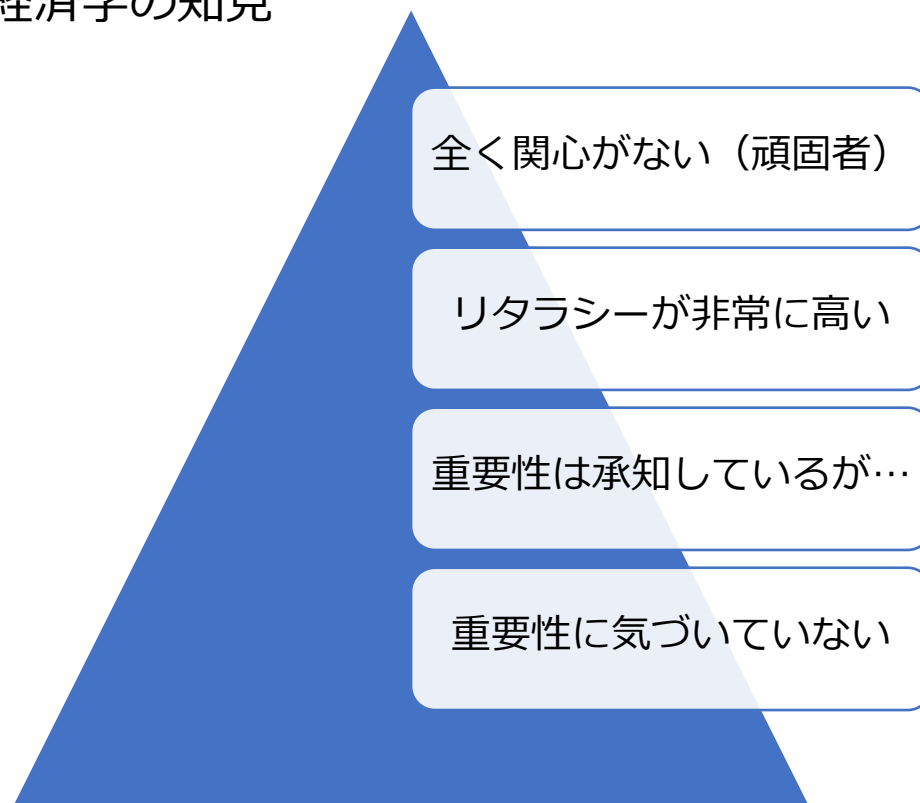
- 医療・医薬品へのアクセス（含むタイミング）改善の必要性
- 給付範囲の適正化の観点が必要
- 医療機関がより重篤な疾患への対応に注力してもらう
- 健康意識を高め「賢い患者」を育て、国民の健康を促進する

- ただし、リスクはゼロではない
- 極端な父権主義との間のバランスが必要

- oTCに対する医師・薬剤師の関与を高める必要あり（一般薬指導管理料の設定など）

(2) ヘルスリタラシー改善に向けて

健康行動経済学の知見



規制的手法
経済的誘導（税制など）

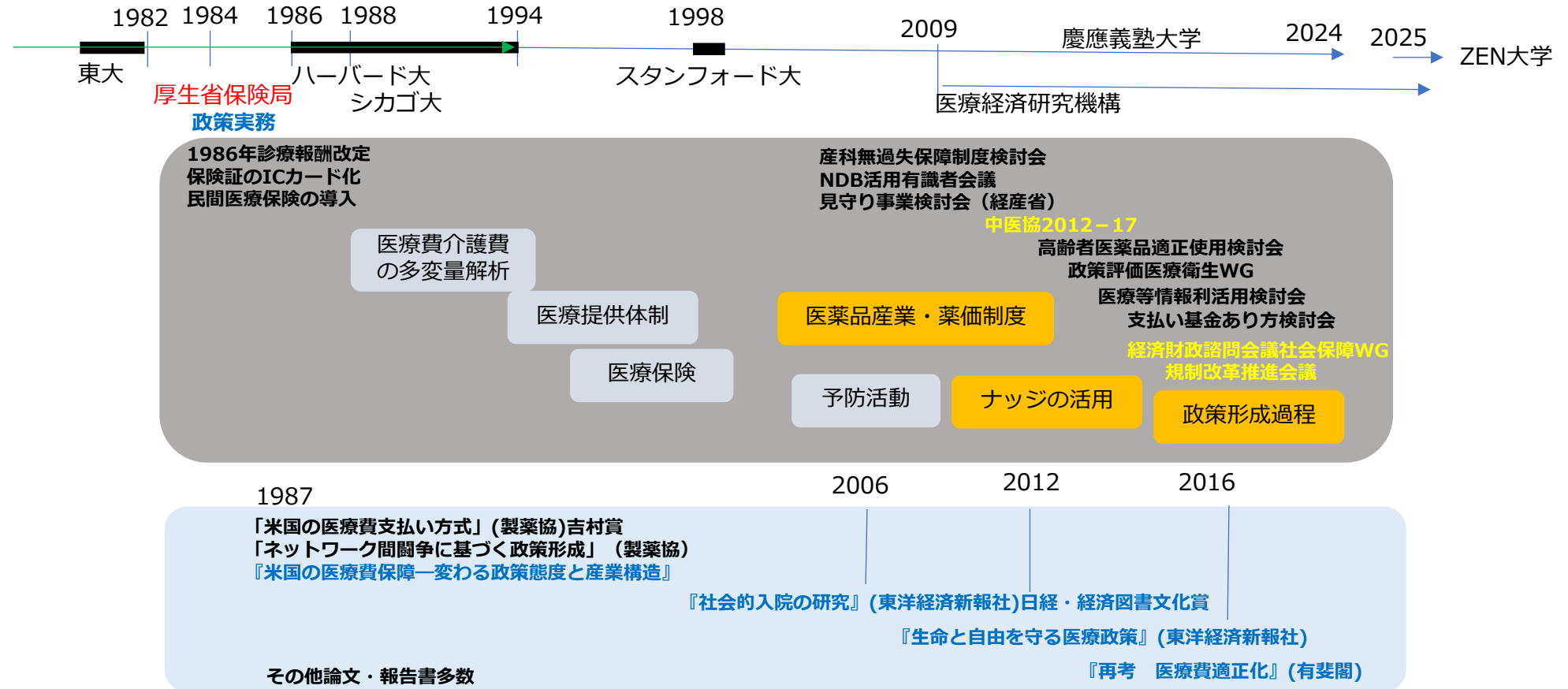
ナッジの活用



- 各ステージごとに有効な介入方法（損失回避、利得強調、社会規範等）が異なる
- 性別などの違いによって、有効な介入方法が異なる
- ランダム化比較実験で検証可能
- 二項ロジットモデル分析+調整変数の投入

自己紹介

研究領域（医療政策分野分）



※ もう一つの専門である意思決定論・交渉論・組織論分野は割愛

我田引水です...

